

の有効活用を図る

町の環境元年を位置付け

環境係を設置

町では、近年社会問題として取りあげられている環境対策を強化するため、平成5年度を「わが町の環境元年」と定め、この4月から環境係を設置しました。そして、これからは自然との調和を考えながら、汚さない・汚されない環境作りを目指し、町と町民の皆さんとが一体となった活動を行っていききたいと思えます。

汚さない・汚されないをテーマ

町では、現在多くのボランティアによる環境美化活動が行われています。

しかしながら、近年都市化が進むにつれ、こうした皆さんの努力を無にする一部の心ない者により、気がついたときには、とりかえしがつかない事態が充分考えられるようになってきました。

こうしたなか、汚れたものを清掃するような、後手

に回った行政を行うのではなく、汚さない、また、汚されないためにはどうするか、町が住民の皆さんと一体となって考えていく体制が必要であることから新たに4月から、保健衛生課に環境係を設置しました。

町民の皆さんにも理解をいただき、ともに住みよい町を造っていききたいと思えます。

町と町民の皆さんが一体にならないと無理

私たちの地球は、長い時間をかけて、生物がおたがいに助けあいながら共生し

てきました。具体的には、植物（生産



者)が二酸化炭素で光合成を行い酸素を造り、つづいて動物(消費者)は、植物を食料とするとともに、酸素をとりいれます。微生物(分解者)は動植物の死骸を分解して土にもどし、またこれを植物がとりいれるという自然界の姿を造ってきたのです。

私たち人間社会も、自然界の生態系におきかえて考えることができます。